発行月:平成25年 5 月　家族新聞　第263号

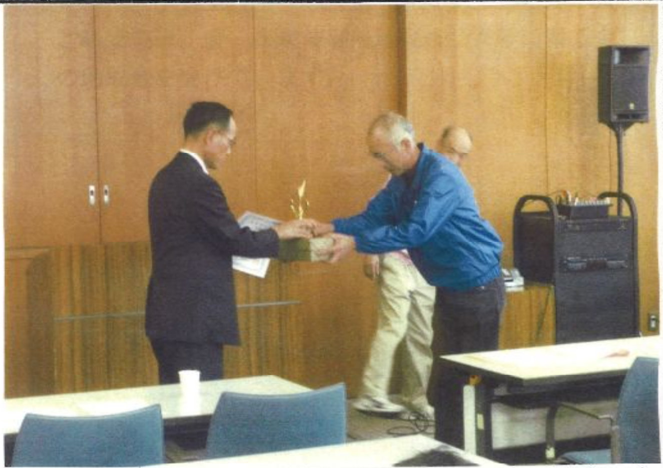
環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所:地域環境活性化協議会
編集者:代表幹事 高 橋 賢 一
連絡先:市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目５番地７
(渋川福祉センター内)
TEL0561-51-2878

「矢田川の一本松」がマナー違反で汚された。

第三回写真コンテスト表彰式が三月二十四日(日)午後一時より三時迄渋川福祉セターで行なわれた。テーマ「心を大切に」で審査員全員一致で「矢田川の一本松」が最優秀賞に選ばれた。その作品の一本松がスタンドプレーで鯉のぼりの柱に使われた。自然と矢田川を愛する人達がとった行動はマナー違反もよいところ。はずかしくないのか。

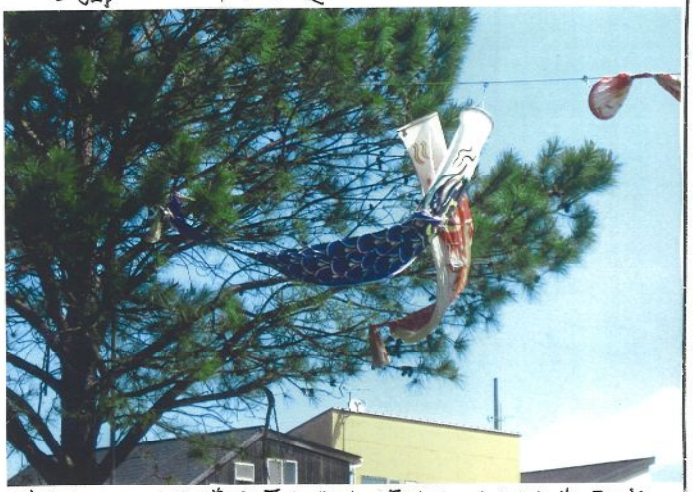


▲最優秀賞を授与される。作品撮影者。

最優秀に選ばれた作品の意とするところは、東日本大震災の奇跡の一本松に感動し、人生まだまだ頑張っていけるよ、生きていれば良いこともあるよ。そしてまた定年を迎えて散歩する人のさびしさ姿、お互いに励ます。応援メッセージとして撮った。その瞬間が審査委員の心を動かした。

▲第3回写真コンテスト最優秀・優秀作品展示、左上写真「矢田川の一本松」

▲右岸の一本松の木(印場橋下)

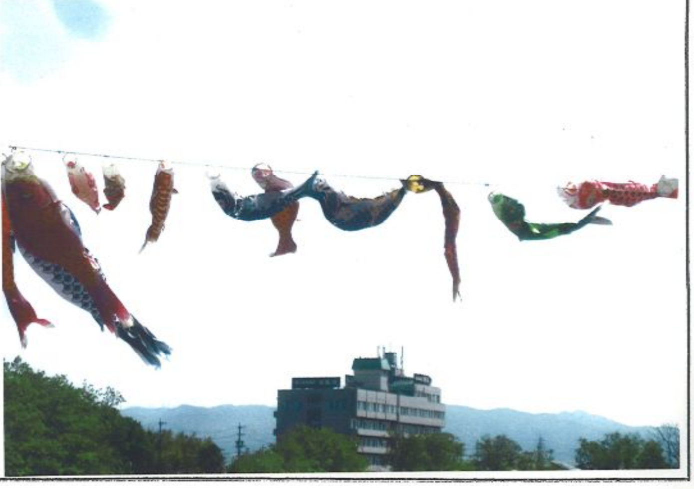


残念ながら鯉のぼりも苦しがっています。松の木も引っぱられてこまっています。

残念ながらただ鯉のぼりを飾ったよ!とアピールしているだけ。一本松が嫌っています悲しいのです。

▼もっと鯉のぼりをきれいに泳がしたらどうですか。

◀鯉のぼりが絡んで枝もポキリ「若葉」



▶左岸も木に絡んでる。マナーが悪いね。